



箕面市議会「市民ネットワーク」

中西とも子の市政報告&タウンミーティング

4月3日(日)午後2時～

場所：中央生涯学習センター 講座室

無料



開かれた議会へ!

議会改革

～長年の提案が少しずつ実現へ～

原則的に公開で開催

意見交換会の記録は全議員で共有

2015年度は、議員同士が議論を深めること、市民との直接対話で得られた課題を議会全体で共有し、政策提案につなげていくことを目的に、「委員会協議会」や「意見交換会」を開催しました。また、『議会だより』をリニューアル。全頁カラー・文字数を減らして見やすくなりましたが「本会議での討論」はこれまでのように登壇者全員の発言要約ではなく、抜粋した掲載となり情報提供が低下しました。

ほかに「委員会のインターネット中継・録画配信」「政務活動費 収支報告の公開(領収書も)、常時閲覧も実現し、中西ら無所属議員の長年の提案が実現しつつあります。

●課題もいろいろ

ただ、中西は議会改革について今後は数値目標をおくことも検討していくべきではないか(例えば、市民満足度調査の数値アップなど)と提案しましたが「時期尚早だ」と議会改革検討会議・専門部会で却下されました。

さらに箕面市議会の「一問一答式一般質問」は、事前すりあわせによる原稿読み上げ式。先進他市のようなガチンコ式ではない点も、改善ポイントだと考えています。なによりも議員のレベルアップが必要。議会を評価するのは市民のみなさんです。今後もワクワクする議会づくりに向けて提案しますので、ご意見をよろしくお願ひします。

2014年度 政務活動費 収支報告

収入 政務活動費540,000円(1ヶ月45,000円×12ヶ月)
支出

項目	金額	備考
調査研究費	530	視察調査旅費
研修費	4,800	地方自治研修他
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	21,132	参考図書購入
広報費	455,749	議会報告ニュース作成・市政報告会
広聴費	0	意見交換
要請及び陳情活動費	0	
人件費	0	
事務費	61,415	事務用品購入・コピー機リース料他
合計	543,626	
残額	△3,626円	

2月議会(2月22日～3月29日)や議会改革のホットな情報をご報告します。また市民のみなさんと膝を交えた意見交換ができればと思います。市政や議会への質問・要望・ご提案等大歓迎。その声を議会活動に活かしていきます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

～議会と市民の直接対話を実現!～
市内各地で「意見交換会」を開催

●分野別(各常任委員会と団体が意見交換)の実施状況

常任委員会	テーマ	団体
文教	英語教育・いじめについて	箕面PTA連絡協議会
民生	地域福祉の現状と課題	地区福祉会・社協
建設水道	農協の課題と役割	大阪北部農業協同組合
総務	プレミアム商品券・北急延伸と商店街・観光振興	箕面商工会議所

●地域別(市内3カ所)で市民と意見交換)で上った項目(順不同)

西南公民館の建て替え、桜井駅前開発、公園(遊具含む)管理運営、樹木管理、滝道活性化、青色パトロール、地域福祉、路上禁煙、ゴミ出しマナー、みのお文化・交流センターの運営、安全な道路管理、意見交換会の目的、ハット市交流、北急延伸、スポーツ施設の運営・管理、オレンジゆずるバス、自治会等

2月議会のお知らせ

- 【2月議会(第一回定例会)】
- 2月15日(月) 議案送付
- 2月16日(火) 意見書・決議案(会派提出)、請願 午後5:15締切
- 2月18日(木) 議会運営委員会
- 2月22日(月) 本会議(施政及び予算編成方針演説、当初予算上程、説明)
- 3月1日(火) 議会運営委員会
- 3月3日(木) 本会議(代表質問)
- 3月4日(金) 本会議(代表質問、当初予算質疑・付託、条例・補正予算等上程・説明・質疑・付託等)
- 3月8日(火)～11日(金) 常任委員会
- 3月23日(水) 議会運営委員会
- 3月25日(金) 本会議(各委員長報告・討論・採決、一般質問)
- 3月28日(月) 本会議(一般質問)

- 【特別委員会】
- 2月9日(火) 交通対策特別委員会
- 2月10日(水) 彩都・箕面森町地域整備特別委員会

*本会議・常任委員会は10時～、議会運営委員会は午後1時～
*委員会・本会議はインターネットでも中継・録画配信しています。
*一般質問は、インターネット録画もご覧いただけます。
お問合せ▶072-724-6705(議会事務局)



この通信は政務活動費で発行しています。

箕面市議会 市民ネットワーク通信

中西とも子の議会報告

Vol.2 2016年冬号

〒562-0003 箕面市西小路4-6-1「市民ネットワーク」控室
Tel&Fax:072-724-6787
✉ t-nakanishi@gikai.city.minoh.osaka.jp



2016年は「正念場」の年。人間力を発揮して本当の変革を!

一後から後悔しないために、今、声を出していきましょう

新しい年がスタートしました。今年も課題は山積み。

安保健法、TPP協定、原発再稼働、辺野古基地、マイナンバー制度、消費増税、労働法改正、日本軍「慰安婦」問題、憲法改定etc...安倍総理の「妻の(パート)収入25万円」と例えた国会答弁が話題になりましたが、女性の非正規・低賃金雇用の実態を無視した発言にはあきれられるばかりです。

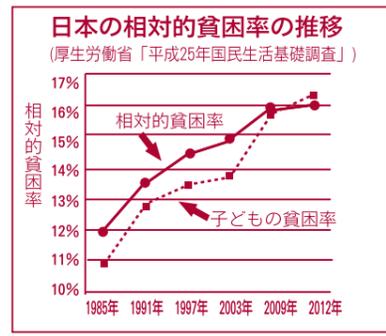
さらに夏の参議院選挙の結果次第では憲法を変え「緊急事態条項」新設が進められることに。日本がナチストイタビみになるなどトンでもないことです。

今年は「溢れる情報や政治のウソを見抜き、この国を本来あるべき姿に導くよう、私たち一人ひとりが市民力・人間力を発揮する」年にしたいと思います。政治は生活そのものです。おまかせ民主主義を返上し、草の根で繋がる力を磨きましょう。

北急開発の一方で、貧困化も進む!

開発予算と社会保障・福祉予算のバランスが問われる

北急延伸工事の詳細設計や関連整備が進む一方で、介護保険制度は2年後にもさらに改定される見通しです。従来の介護保険制度の枠組みから市独自の取り組みへと移行が進むため、今後



さらに各自治体の裁量でサービスの質が違ってきます。市の覚悟が問われる時代といえます。他の社会保障費も増加傾向にある中で、格差と貧困問題は箕面市として例外ではありません。

限られた財源をどのように配分するのか、未来を見据えながら市民が納得できるものでなければなりません。高齢者も若者も子どもも安心して暮らせる、あるいは夢や目標を描ける社会をいかに実現するのかが、重要な課題。2025年には75歳以上の人口がピークになると予測され、単身世帯化が進みます。高齢者やマイノリティほか誰もが孤立化しないための、今以上の制度やまちづくりの準備が必要です。

地域でできることはいっぱいある。

多様な生き方が尊重される。人と経済の循環型のまちづくりを!

空家の利活用や、地域でサービスを担える人の育成、市役所関連の仕事ワークシェアする。市の情報をもっと市民に公開・提供して、市民が地域で活躍しやすく、そして政治参画できる体制を進めていきたい。そのために、今年も公正・公平で、弱い立場の人に寄り添った活動に専念します。ピンチをチャンスに変え、箕面市民の底力を発揮できるよう、今年もみなさま、ご一緒に!

市民ネットワーク 中西とも子の政治スタイル

- 行政を厳しくチェックし、税金のムダ使いを許しません!
- 情報を公開し、市民のみなさまと一緒に問題解決をはかります!
- 社会的弱者の立場にたって行動します!
- 平和・人権・民主主義と環境を守ります!
- 組織にしばられることなく自分で考え、行動します!





子どもの貧困対策について

子どもの貧困問題が大きな課題になっています。貧困層の割合を把握するために、平均所得の半分以下を「貧困ライン」とよんでいます。厚労省の調べでは 2012 年度の日本の貧困ラインは 122 万円。先進国のなかでも貧困率が高く、とくにひとり親世帯の子どもの貧困は 54.6%とひどい状態です。

箕面市においても、休日に昼食をとっていない子どもがいるなど深刻。子どもの貧困について市の認識や実態調査について質問しました。

市の答弁 貧困の連鎖を断ち切るために、幼・小・中・高校期を通して子どもや家庭の状況をトータルに把握し、実態をつかんでいく必要があると考える。

子どもが親以外のおとなと触れ合い、成長できるような居場所が必要。子どもの声を聞き寄り添うことができる体制づくりや、「子ども食堂」などの飢えや寂しさに向き合う場などについて、さまざまな地域で市民協働で取り組めるような支援は？

市の答弁 さきに述べたようにトータルな仕組づくりを優先事項としたい。市民や NPO の取り組みの拡がりに期待する。

ほかに、就学援助について国の方針で生活保護基準が引き下げられたため、今後の影響が懸念されます。引き下げではなく、さらに基準を緩和することや給付型の奨学金など経済的支援で、子どもが夢をあきらめず、将来に希望をもて学べるような対策を求めました。

児童扶養手当の支給状況
*ひとり親世帯に支給（所得制限あり）

年度	2012	2013	2014
受給者数	1,071 人	1,077 人	1,086 人

一般質問
しました

箕面市就学援助＜要保護・準要保護＞の給付状況（2014年度）

生活保護受給世帯およびそれに準ずるなど経済的に就学が困難な児童生徒に学用品費などを支給

	人数	認定率	全児童・生徒数
受給児童数（小学生）	799 人	10.3%	7,783 人
受給生徒数（中学生）	562 人	16.7%	3,372 人

人権を大切にすまをめざして

一昨年から続けて、市の施設内で差別落書き（民族差別・障がい者差別）が見つかりましたが、箕面市は明確な姿勢や見解を市民に公表しませんでした。また虐待事件もあとを絶たず、人の尊厳を守るというあたりまえの権利が危うく感じられます。一方で加害の側も生きづらい社会のなかで追い詰められているのではないのでしょうか。人を大切にするまちづくりに向けて、市民や職員の意識調査、アクションプランの作成、若手職員らが取り組んでいる人権行政研究会の成果を現場でしっかり活かせる体制等を求めました。

委員会質疑から 官製ワーキングプアを生まないために

いまや労働者の 4 割強が非正規雇用といわれています。（厚労省調べ）公共サービスには自治体が雇う正規職員・非正規職員が実施する直営サービスと、民間事業者への委託、補助金や事業費を給付するサービスとがあります。12月議会では、給食調理業務の民間委託化を承認を求める案件がありました。質疑のなかで市長から「基本的に同一価値労働、同一賃金である」旨の確認がとれました。これは官製ワーキングプアを生まないための一歩です。今後、この市長の答弁が守られるか、しっかり見届けていきます。



大丈夫なん？マイナンバー 1234567890

国の法整備が間に合っていないから、市で規則をつくる！?

12 月議会では、1 月からのマイナンバー利用開始について法や省令が不足していて、このままでは運用できないため、市でわざわざ条例改正して補うという議案が出てきました。マイナンバー制度は費用対効果が不明なうえ不安要素が多く、開始を遅らせても市の事務に支障がないため、条例改正には反対しました。

マイナンバーに関する納得できない修正予算！ 無所属議員3名で、修正案を提案しました



2017 年 7 月から自治体間の情報連携が始まりますが、それに先立ち中間サーバーの利用料（負担金）の予算が計上されました。自治体は独自で中間サーバーを置くか、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）の中間サーバー・プラットフォームを利用するかを決めることとなっています。

①市が中間サーバーを置くには費用がかかり、かといって J-LIS のものは市に対し基本設計や詳細設計などの情報提供がなく、不透明なものに負担金を出すことはできない ②個人番号カード交付の際、身分証明書以外に本人確認ツールとして全員に顔認証システムを使いたいと、機器を 3 セットも購入する費用が計上された。申請時になりすましていた場合には、顔認証システムは役に立たないし、国でさえ目視で写真と本人が識別できないときに限り、認証システムの使用を勧めている。明らかに本人とわかる場合でも顔認証システムを使うのは機械的で無駄な行政コストである。

マイナンバーの拡大利用はリスクを増し、すでに箕面市でも詐欺事件が発生。市民を守る立場にある市は、今のうちに国に見直しを求めるべきと提案・討論しました。（残念ながら否決）

トピックス 北急延伸はどうなってるの？

北急延伸事業（車両費含む） 650億円が672億円に！ 市民不在で着々と進む

昨年 12 月 25 日付で、北大阪急行電鉄（株）は国土交通省から事業許可及び特許を得ました。現在詳細設計を進め、駅周辺整備の基本設計は 3 月中の完成予定。開業は 4 年後の 2020 年とのことですが、いまだに船場新駅周辺のまちづくりについて、船場西の住民は参画できていません。建設費は



「箕面船場駅周辺のイメージ」
箕面市ホームページより

当初より 22 億円アップの発表があり、これからの周辺整備と併せて全体の事業費も膨らむ可能性があるのでは。

西南公民館の建て替え問題

老朽化した公民館の建て替え場所めぐり、地域住民と利用者の意見が分かれ、市は右往左往。建て替えのための懇話会委員の影響が及ぶ近隣の住民を外して、計画案を作成。まちづくりの原則に反した市の在り方が問われました。

また、新施設は公民館から生涯学習センターに。利用料や駐車料金など負担が大幅に増すことの説明がなかったことも市民の不信をかいました。双方に言い分はあり、お互いを尊重した丁寧な話し合いが求められます。

<船場新駅周辺に予定されている施設>

- 大阪大学外国語学部移転●市民会館の移転
- 保険医療・スポーツ施設●歩行デッキ

彩都なないろ公園でポヤさわぎ。夜間利用を規制するも・・・

ダブルフリーフォールやドッグラン、ビオトープなど 2.6 ヘクタールの広さを誇る公園は、休日には市外からのファミリーも訪れ、にぎわっています。ただ夜間に若者らが騒いだり、たばこの吸い殻や空き缶・ペットボトルなどのゴミもどっさり。周辺住民の苦情で、夜間規制をかけ清掃員も配置しましたが、それでも十分とはいえず頭痛のタネに。地域の有志の方々が公園の美化に取り組まれています。青少年対策と併せて行政等の粘り強さが必要です。



彩都なないろ公園のダブルフリーフォールすべり台